

1 個人:3件

(敬称略:五十音順)

氏名	所属等	功績の概要
片倉 由一	神奈川県電波適正利用推進員協議会 会長	長年にわたり神奈川県電波適正利用推進員協議会の会長を務め、関係団体と折衝し、電波の正しい利用方法とルールについて各自治体等と連携したイベントを企画するなど、良好な電波利用環境の維持及び協議会活動の発展に多大な貢献をした。
福地 一	公立大学法人首都大学東京 名誉教授	長年にわたり電波障害の分析と調査手法について検討を行い、解決困難な事案の早期解決と未然防止に尽力するとともに、電波環境協議会会長を務めるなど、電波利用環境の維持に多大な貢献をした。
藤野 義之	東洋大学理工学部 電気電子情報工学科 教授	ワイヤレス電力伝送システムの利用に関する周波数共用条件の調査検討会において座長を務め、導入に向けた課題を整理するとともに、既存の無線システムとの共用を可能とするための技術的検討を行うなど、電波有効利用の推進に多大な貢献をした。

2 団体:4件

(敬称略:五十音順)

団体名	代表者	功績の概要
公益社団法人移動通信基盤整備協会	会長 大瀧 栄司	鉄道トンネル内の電波遮へい対策に努め、管内の新幹線の全トンネル内で携帯電話の利用を可能とし、利用者の利便性の向上や非常時における通信手段の確保に寄与するなど、電波利用環境の整備に多大な貢献をした。
学校法人片柳学園 日本工学院専門学校	校長 前野 一夫	長年にわたり情報通信分野の専門教育に積極的に取り組み、無線従事者を養成するなど、無線通信業界の技術者として活躍する人材の育成・輩出に多大な貢献をした。
東日本旅客鉄道株式会社	代表取締役社長 深澤 祐二	鉄道トンネル内の電波遮へい対策に努め、管内の新幹線の全トンネル内で携帯電話の利用を可能とし、利用者の利便性の向上や非常時における通信手段の確保に寄与するなど、電波利用環境の整備に多大な貢献をした。
山梨県日下部警察署	警視 野矢 聡	不法無線局の及ぼす社会的影響を重視し、不法な外国製狩猟用発信器を使用した無線局を開設して運用した者を摘発するため、当局の要請に積極的に対応するとともに、電波法令違反者を摘発するなど、電波利用秩序の維持に多大な貢献をした。